



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施（令和4年1月中）

静岡中央地区、浜松中央地区の各安全運転管理協会は、それぞれ地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、本年1月中に、管轄警察署の「死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

【静岡中央地区】

1月27日（木）、県警交通部及び静岡中央警察署の呼び掛けで、静岡市葵区役所、安協静岡中央地区支部等の関係団体とともに、静岡中央地区安全運転管理協会から望月会長以下役員と事務局長、安管推進事業所「日本産業廃棄物処理㈱」「楽寿会」「㈱東海ビルメンテナンス」の安全運転管理者等11人が参加、合計24人により

11月30日（火）の夕方、静岡市葵区新聞地先の国道で発生した交通死亡事故（普通乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の78歳女性が死亡、同事故で81歳の男性歩行者も重傷を負ったもの）

の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の見通しの良い直線道路で、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

○ スピード抑制のため、ドット線の路面標示や注意喚起の看板設置を検討

○ ハイビームによる歩行者の早期発見など、各団体で交通安全広報を実施

など、活発な意見が出されました。



【事故現場診断】
（赤矢印～歩行者）



【事故防止対策協議の状況】

【浜松中央地区】

1月27日(木)、県警交通部及び浜松中央警察署の呼び掛けで、浜松市中区役所、地域交通安全推進委員、地元自治会、安協浜松中央地区支部等の関係団体とともに、浜松中央地区安全運転管理協会から役員・安管推進事業所の「県自動車学校浜松校」「大和電気工業(株)」「本田技研工業(株)トランスミッション製造部」「遠鉄アシスト(株)」「(株)呉竹荘」「須山建設(株)」「中部電力パワーグリッド(株)浜松営業所」「(株)ソテック中部」及び事務局員の9人が参加、合計35人により、

1月11日(火)の夕方、浜松市中区蛸塚地先の市道で発生した交通死亡事故(軽四乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の88歳男性が死亡)の交通死亡事故について現場診断を行いました。

この事故現場は、片側2車線の交通量の多い信号交差点で、現場診断及び交通事故防止対策を検討した結果、

- 夕刻後は交差点全体が暗く、歩行者の視認性確保のため街路灯の設置を検討
 - 若者運転者に対する安全運転、歩行者に対する反射材着用の広報活動を実施
- など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【現場診断の状況】



【参加者による事故防止対策検討会】